

◎ 美術館情報

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの美術館等で、臨時休館やイベントの休止、展覧会の中止や開催期間の変更、および入館方法等が変更になっています。

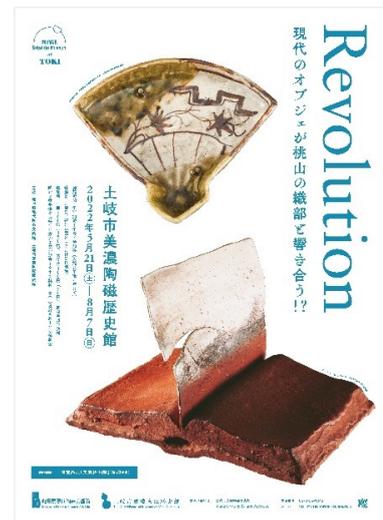
状況が日々変動しているため、各施設の公式ホームページなどで最新の情報をご確認ください。

1. 土岐市美濃陶磁歴史館【岐阜・土岐】(<http://www.toki-bunka.or.jp/events/event/event-5329-c-c-2>)

5月21日(土)～8月7日(日)

企画展： MoMCA サテライトミュージアム「Revolution 現代のオブジェが桃山の織部の織部と響き合う!？」

岐阜県多治見市にある岐阜県現代陶芸美術館は、近現代の陶芸を専門とする美術館です。英語名 Museum of Modern Ceramic Art, Gifu の略称から、MoMCA(もむか)として親しまれています。MoMCA は設備改修工事のため2021年11月～2022年9月16日まで休館しています。この間、県内各地でMoMCAコレクションをお楽しみいただける「MoMCA サテライトミュージアム」を開催しており、その会場の1つが土岐市美濃陶磁歴史館です。土岐市美濃陶磁歴史館では、現代日本の新しい陶芸を、オブジェ作品を中心にをご紹介します。用途を離れ、伝統を脱した、やきものの造形。それが日本で制作されるようになって、半世紀以上が経ちました。そして、この潮流においても、美濃ゆかりの作家たちが様々に活躍してきました。このような現代の陶芸は、自由で革新的な造形や意匠といった点において、400年前に土岐市で誕生した織部に通じるものがあります。本展では、土岐市美濃陶磁歴史館が所蔵する桃山時代の織部焼を、あわせて展示します。桃山の織部との出会いで、現代のオブジェはどんな表情を見せてくれることでしょう。



2. 出光美術館【東京・千代田区】(<http://idemitsu-museum.or.jp/exhibition/schedule/>)

6月18日(土)～8月21日(日)

企画展： 生誕150年 板谷波山—時空を超えた新たなる陶芸の世界
近現代陶芸の旗振り役の一人として評価される板谷波山(本名・嘉七、1872～1963)の生誕150年を記念して、その生涯と作品を展覧する回顧展を開催します。波山は、彫刻的な文様、釉下彩の技法に加え、当時欧州で流行していたアール・ヌーヴォーの様式をいち早く受容し、新しい意匠表現を生み出しました。一方で中国の古陶磁なども学習し、独自の青磁、白磁の制作にも取り組みました。本展では、波山の作品の変遷を通して、今でも色褪せることのない波山陶芸の魅力を紹介します。



3. 愛知県陶磁美術館【愛知・瀬戸】(https://www.pref.aichi.jp/touji/exhibition/2022/t_suwasozan/index.html)

5月21日(土)～6月26日(日)

テーマ展： 初代諏訪蘇山 没後百年記念展

— 初代蘇山の遺した石膏型を次代へ —

本展は、初代諏訪蘇山の没後百年を記念し、その作品、石膏型や史料から蘇山の技と美をご紹介します。さらに石膏型をどのように残し、将来へ活かしていくべきか、その取り組みも紹介いたします。

